

社友会は「ワンマン化・車掌激減」のためだ！

中・長編成のワンマン化提案

7月24日、JR東日本はワンマン運転拡大についての提案を行いました。中編成(3〜6両)、長編成(7両以上)でもワンマン化するというとんでもない内容です。

こんな形で車掌を削減すれば、安全の根幹が崩壊します。例えば緊急時なら、安全

<ワンマン運転拡大提案概要>

- 中編成(3〜6両)、長編成(7両以上)にもワンマン拡大
- 線区、区間を限定せずにワンマン運転を導入

<必要な整備>

中編成：車載ホームモニタ

長編成：車載ホームモニタ、ATO(自動列車運転装置)かTASC(定位置停止装置)、指令一客室間通話機能。利用の多い路線はホームドア。

<実施日> 2020年3月以降

※具体的な線区等については各支社から提案

確保や乗客誘導などをすべて運転士一人で行えるはずがありません。列車の安全な運行は運転士と車掌とで守っているのです。

仲間のためにも社友会に反対を

無制限なワンマン化で車掌の要員数を激減させる。しかし、現場から怒りの声があがって反乱が巻き起これば、会社の攻撃はストップせざるを得ません。

まさに社友会はこのための攻撃です。鉄道の安全が崩壊しようと、仲間の雇用が奪われようと、声一つあげられない職場にする。そうして初めて、^{ジョブプロ}やワンマン化による車掌・運転士への攻撃が成立します。

会社は募集要項で運転士・車掌を「事務職」と位置づけ、乗務員というあり方を否定しようとしています。しかし、どんな「仕組み」を作ろうと、職場に闘う団結がある限り、会社の攻撃は打ち破れます。

社友会に入っただけはなりません。鉄道の安全のため、ともに働く仲間のためです。職場から^{ジョブプロ}・ワンマン拡大反対の声をあげよう。職場に闘う労働組合を取り戻そう。

TEL: 043 (222) 7207
組合加入等のお問い合わせは国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)まで
メール: doro-chiba@doro-chiba.org